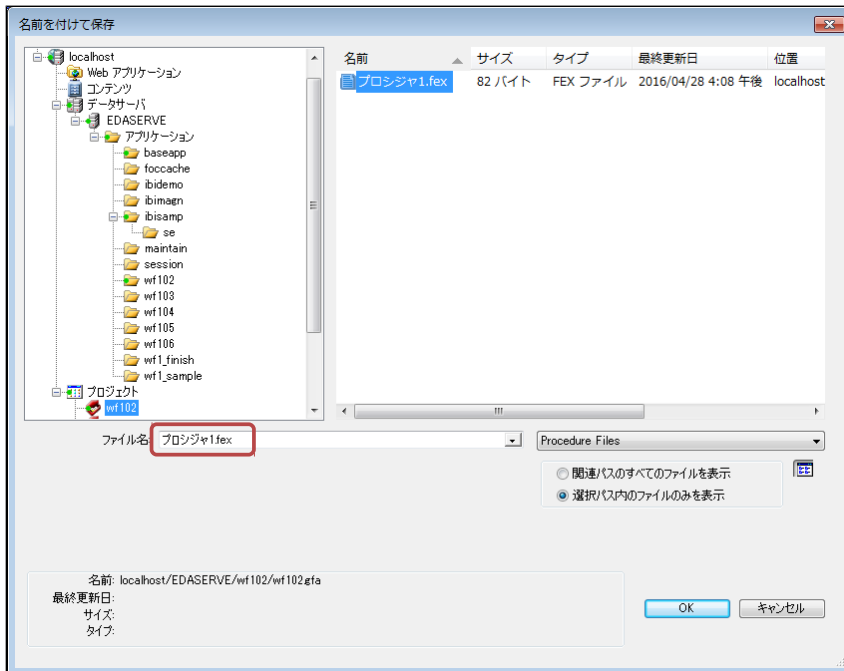


*WebFOCUS*研修補足資料  
(*WebFOCUS 8.1.05M*の主な変更点)

# 1 WebFOCUS 8.1.05Mの主な変更点

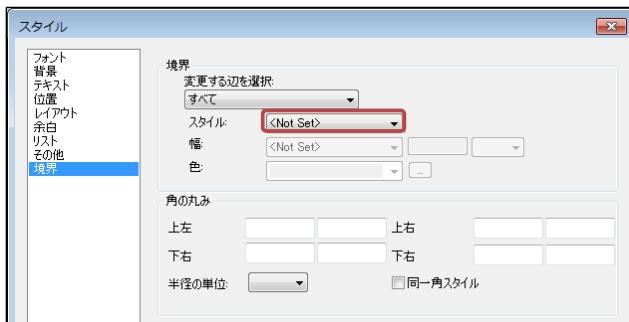
## 1.1 プロシジャ名の初期設定の変更

WebFOCUS 8.1.05Mでは、プロシジャ名の初期設定が「プロシジャ名.fex」のように日本語です。プロシジャ名は半角英数字を指定する必要があるため、必ず変更してください。



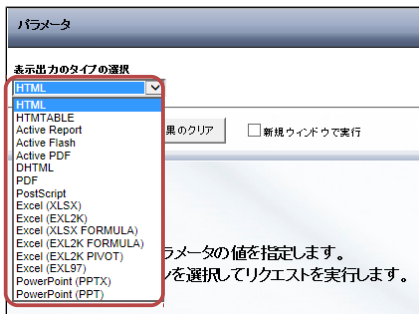
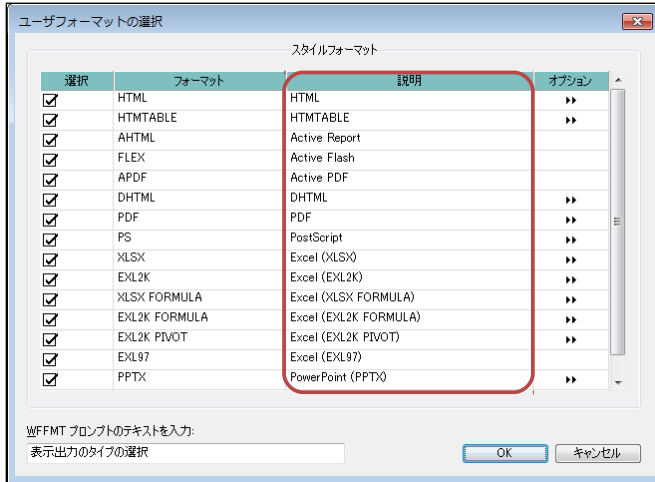
## 1.2 HTMLキャンバスの設定値の表示変更

WebFOCUS 8.1.05Mでは、HTMLキャンバスの[プロパティ]パネルや[スタイル]ウィンドウで、何も値を設定しなかった場合の表示が「<設定しない>」から「<Not Set>」に変更されました。



## 1.3 [ユーザフォーマットの選択] ウィンドウの [説明] の変更

WebFOCUS 8.1.05Mでは、出力形式ユーザを設定した場合に表示される[ユーザフォーマットの選択]ウィンドウの[説明]が変更されました。これにより、入力コントロールの選択肢として表示される文字も変更されます。



## 1.4 サーバログへの出力内容の変更

WebFOCUS 8.1.05Mでは、テンポラリディレクトリのファイルがロックされている場合に、サーバログに出力されるログが変更されました。

### ● WebFOCUS 8.1.05

```
01/04/2016 08:30:30.644 I edatemp is C:¥ibi¥srv77¥wfs¥edatemp
01/04/2016 08:30:30.644 I Removing old edatemp directory.
01/04/2016 08:30:30 644 E multiple entries could not be removed
01/04/2016 08:30:30.644 E cannot create tmp dir
01/04/2016 08:30:31.267 I Workspace Manager stopped
```

### ● WebFOCUS 8.1.05M

```
01/04/2016 08:30:30.644 I edatemp is C:¥ibi¥srv77¥wfs¥edatemp
01/04/2016 08:30:30.644 I Removing old edatemp directory.
01/04/2016 08:30:30 644 E cannot remove file:C:¥ibi¥srv77¥wfs¥edatemp¥test.xls
01/04/2016 08:30:30.644 E 一時ディレクトリを作成できません。
01/04/2016 08:30:31.267 I Workspace Manager stopped
```

## 1.5 シノニムエディタによるマスターファイルの編集

WebFOCUS 8.1.05Mでは、シノニムエディタを利用してマスターファイルをGUIで編集できます。

[環境ツール]パネルでマスターファイルをダブルクリックすると、シノニムエディタが起動します。

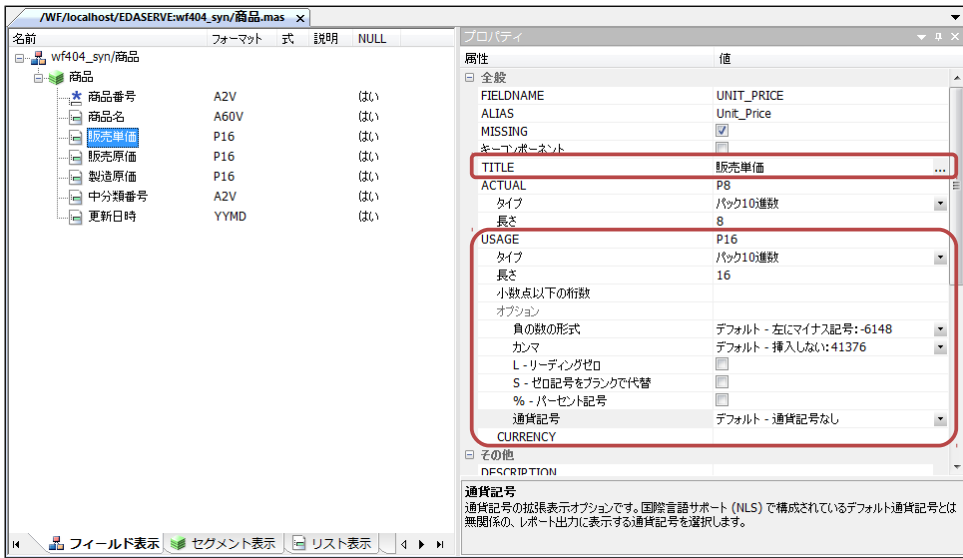
The screenshot displays the WebFOCUS GUI interface. The top toolbar includes various icons for file operations and data management. The main window shows a tree view of the 'Sales' table structure with fields like '納品日付', '納品年', '納品月', etc. The right-hand pane shows the 'Synonym Editor' for the 'Sales' table, listing field names and their corresponding values or formats.

名	フォーマット	式	説明	NULL
納品日付	YYMD			(は)
納品年	A4V			(は)
納品月	A6V			(は)
大分類番号	A2V			(は)
大分類名	A60V			(は)
中分類番号	A2V			(は)
中分類名	A60V			(は)
商品番号	A2V			(は)
商品名	A60V			(は)
地区番号	I2			(は)
地区名	A6V			(は)
都道府県番号	A2V			(は)
都道府県名	A8V			(は)
得意先番号	A5V			(は)
得意先名	A60V			(は)
担当者番号	A5V			(は)
納品数量	P9			(は)
売値	P16			(は)
定価	P16			(は)
原価	P16			(は)
売上	P16	SELLING_PRICE * DELIVERY_AMOUNT		(は)
粗利	P16	(SELLING_PRICE - COST_PRICE) * DELIVERY_AMOUNT		(は)

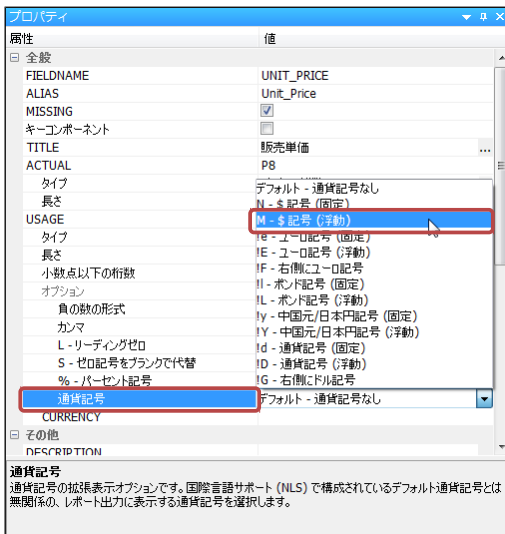
WebFOCUSサーバにセキュリティが設定されている場合、シノニムエディタ起動時にログイン画面が表示されます。

## ● マスターファイルの属性の変更

属性を変更する項目を選択し、[プロパティ]パネルでTITLEやUSAGEの値を変更します。



例えば、数値データを通貨記号の¥マーク付きの表示に変更したい場合は、USAGEの[オプション]の[通貨記号]から「M - \$記号(浮動)」を選択します。



## ● 日付項目の変更

日付項目の時刻の有無を変更する場合（日付タイプと日付時刻タイプの変更）には、USAGEとACTUALの両方を変更します。シノニムエディタでは、ACTUALの[タイプ]を変更すれば、USAGEも自動的に変更されます。例えば、ACTUALの[タイプ]を「日付」から「日付時間(タイムスタンプ)」に変更すると、USAGEの[タイプ]も「日付時間(タイムスタンプ)」に変更されます。

The first screenshot shows the 'ACTUAL' field with the type set to '日付' (Date). The 'USAGE' field is also set to '日付'. The second screenshot shows the 'ACTUAL' field type changed to '日付時間(タイムスタンプ)' (Date-Time Stamp). Consequently, the 'USAGE' field type has also changed to '日付時間(タイムスタンプ)'. Red boxes highlight these changes in both screenshots.

日付時刻タイプに変更した場合は、[時間]で単位を指定します。

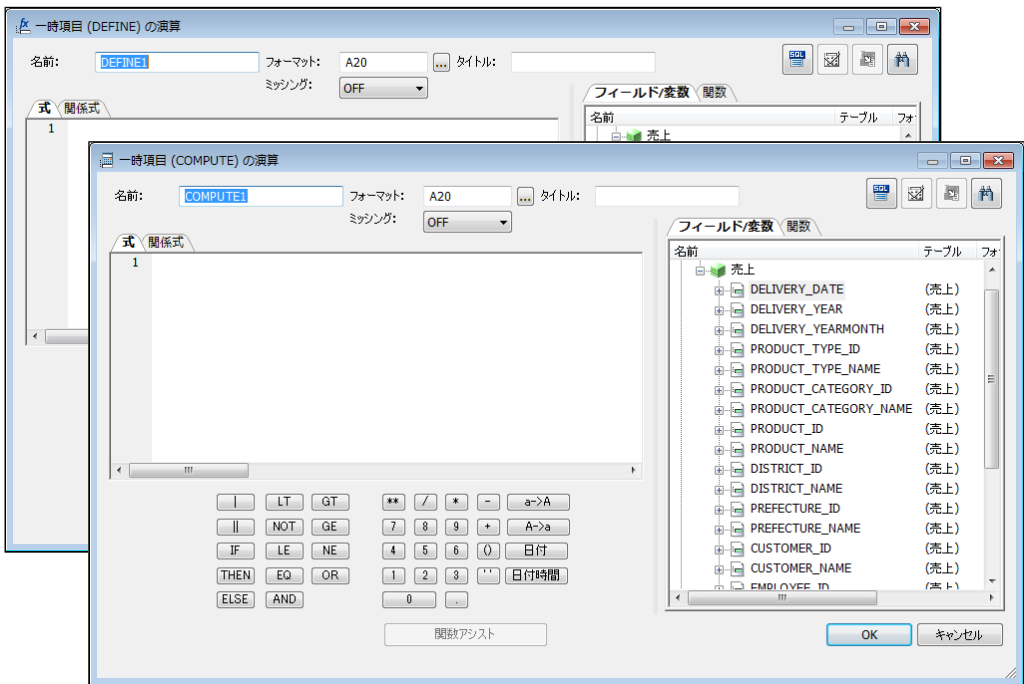
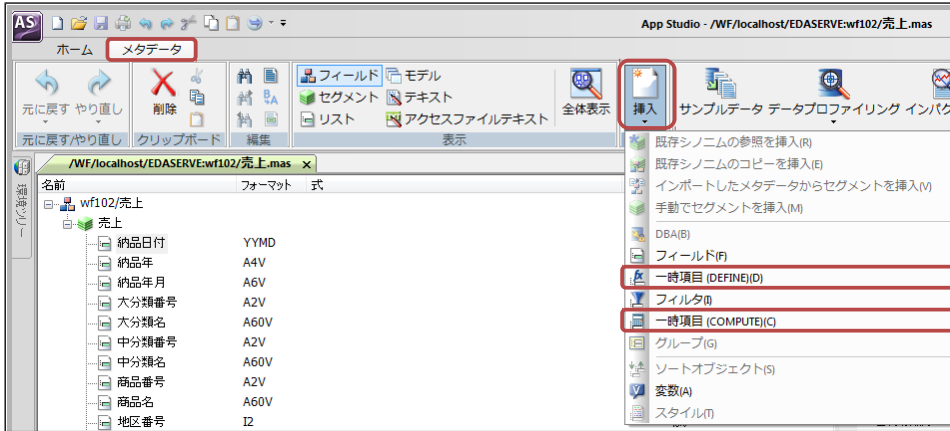
例えば、ACTUALの[時間]で「S - 秒 2012/08/21 02:05:27」を選択すると、ACTUALとUSAGEの値が「HYYMDS」に変更されます。

The first screenshot shows the 'ACTUAL' field with the type set to '日付時間(タイムスタンプ)' (Date-Time Stamp) and the unit set to '時間' (Time). The 'USAGE' field is also set to '日付時間(タイムスタンプ)'. The second screenshot shows the 'ACTUAL' field type changed to '時間' (Time) and the unit set to 'S - 秒 2012/08/21 02:05:27'. Consequently, the 'USAGE' field type has also changed to '時間'. Red boxes highlight these changes in both screenshots.

● マスターファイル中のCOMPUTE、DEFINE

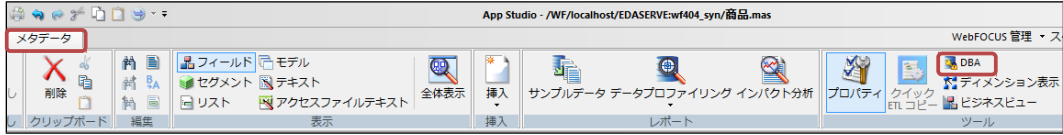
マスターファイル中にCOMPUTEとDEFINEを指定するには、[メタデータ]タブの[挿入]をクリックし、[一時項目(DEFINE)]、または[一時項目(COMPUTE)]を選択します。

[一時項目(DEFINE)の演算]、または[一時項目(COMPUTE)の演算]ウィンドウで、名前とフォーマット、演算式を指定します。



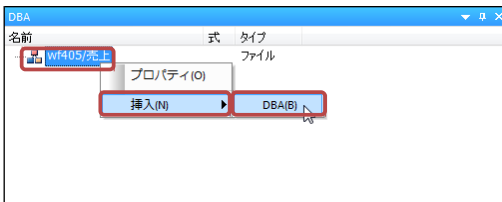
## 1.6 シノニムエディタによるDBAの設定

WebFOCUS 8.1.05Mでは、シノニムエディタを利用してマスターファイルにDBAを設定できます。シノニムエディタで、[メタデータ]タブの[DBA]をクリックすると、[プロパティ]パネルの下に[DBA]パネルが表示されます。

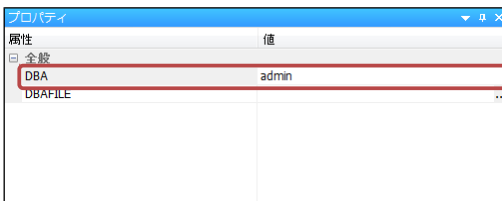
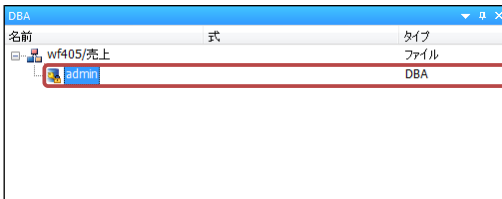


### ● 管理者ユーザの設定

[DBA]パネルのマスターファイル名を右クリックし、[挿入]→[DBA]を選択し、管理者ユーザを追加します。



管理者ユーザを変更する場合は、[DBA]パネルで追加された管理者ユーザを選択し、[プロパティ]パネルで[DBA]の値を変更します。

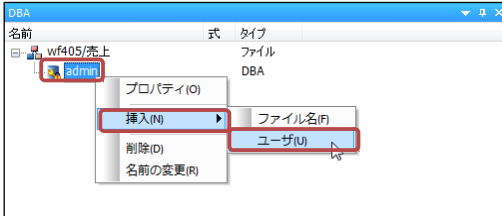




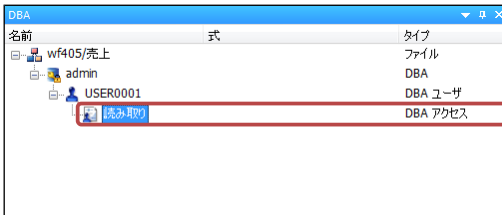
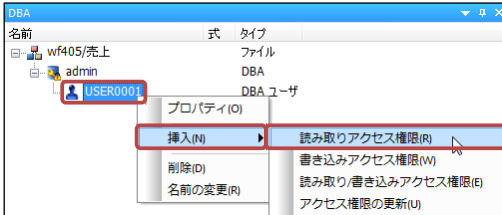
## ● ユーザの追加

[DBA]パネルの管理者ユーザを右クリックし、[挿入]→[ユーザ]を選択し、ユーザを追加します。

ユーザを変更する場合は、[DBA]パネルで追加されたユーザを選択し、[プロパティ]パネルで[USER]の値を変更します。

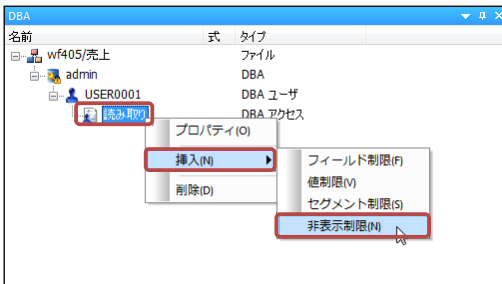


またユーザには「読み取り」権限を追加する必要があります。「読み取り」権限を追加するには、ユーザを右クリックし、[挿入]→[読み取りアクセス権限]を選択します。

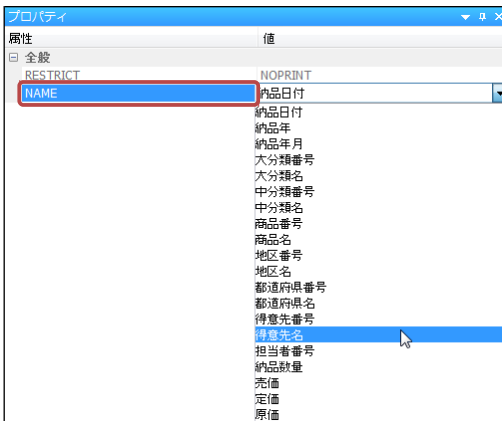
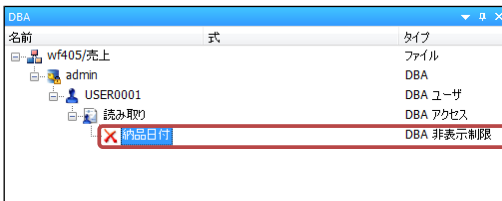


## ● 項目の参照制限

[DBA]パネルの「読み取り」を右クリックし、[挿入]→[非表示制限]を選択します。

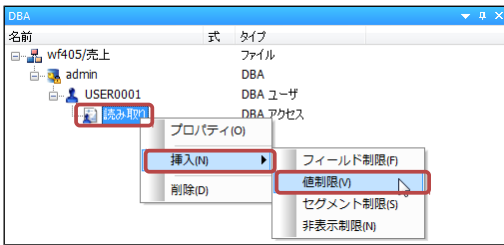


参照制限をかける項目を変更する場合は、[DBA]パネルで項目を選択し、[プロパティ]パネルで[NAME]の値を変更します。



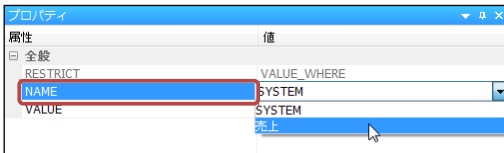
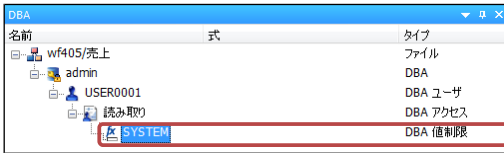
## ● データ/レコードの参照制限

[DBA]パネルの「読み取り」を右クリックし、[挿入]→[値制限]を選択します。



参照制限をかけるセグメント名や条件式を変更する場合は、[DBA]パネルで追加された値を選択し、[プロパティ]パネルで変更します。

セグメント名は[NAME]、条件式は[VALUE]の値を変更します。



[ VALUE ]の右端の [ ... ] ボタンをクリックすると、  
[ VALUE ]ウィンドウが表示され、条件式を  
GUIで指定できます。

